

## 訃 報 — 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

沖田比呂志 殿(建設)	平成 28 年 10 月 25 日逝去	86 歳
堀 毅 殿(電気電子)	平成 27 年 10 月 5 日逝去	42 歳
新崎 義幸 殿(建設・総合技術監理)	平成 29 年 5 月 5 日逝去	64 歳

## ■ ■ ■ 編 集 後 記 ■ ■ ■

北海道に桜前線が緩やかに到達したあと、ドミノ倒しのごとくレンギョウ、チューリップ、スイセンなどの開花スイッチが入り、色に溢れる季節となりました。札幌ではライラックが見頃です。この花がそこかしこで見られるようになると、日照時間がさらに長くなり夏至へ向かっていることが感じられます。最近では北海道でも梅雨に似た時期がありますが、日照時間の長いこの時期こそ、農作物にとっては光合成を行う最適時期です。北海道の 200%超の食糧自給率を支えているのも、この太陽光を自身のエネルギーに変換出来る植物の生体システムのお蔭です。トランプ政権の発足以来、アメリカは TPP からの離脱を表明していますが、今後農林水産業のみならず、金融、医療、特許その他複数の分野への影響と日本の立ち位置が非常に懸念される状態になってきました。技術士が携わる産業分野は幅広く、それゆえに日本独自の技術を強みとして大きなエネルギーへ転換し、発信していくことが、今後更に重要になると思わずにはいられません。本誌がわずかでも皆様の技術者としての一助になりましたら幸いです。

第 142 号編集担当 加藤 美穂子